

東久留米市立第三小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・促音や拗音、長音を正確に書くことに課題が見られる。 ・助詞（「は」「を」「へ」）を正しく表記し、文を書くことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚化、動作化を取り入れながら、繰り返し学習する時間を確保する。また、書く前に声を出して発音した文字を確認してから書くようにさせる。 ・国語の授業時間や三小日記を活用しながら、文を書く機会を多く設定する。言葉と言葉を接続することを視覚的に捉えたり、間違い探しをしたりして理解を深めさせていく。 ⇒3学期、自分で文章を書く機会（感想やふりかえり）で正しく文章を書けている児童9割を達成するようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数のたし算とひき算の計算に課題が見られる児童は1割である。 ・文章問題において、題意を正確かつ的確に読み取り、正しく立式することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックなどの具体物を操作することで、視覚的に理解できるようにする。 ・計算カードを繰り返し行い、定着を図る。 ・具体物や図を活用しながら、情報を整理して問題を解いていく。 ・文章問題では、十分に考える時間を設ける。 ⇒9割以上の児童が正確に計算できるようにし、文章問題は、8割以上の児童が正しく回答できるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や社会との関わりについて気付いたり表現したりする力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいを明確にし、気付いたことを全体で話し合う場を設定する。体験だけで終わるのではなく、思ったことや気付いたことを言語化して振り返るようにする。 ⇒振り返りの際、したことを書くだけでなく、どんなことに気付いたか書ける児童が8割達成するようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値についての理解はできるが、多面的、多角的に考える力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立場を変えてどう思うか、他の場面だったらどうなるかなど、発問を工夫し、多面的・多角的に考えたり、実践を振り返ったりする学習活動を設定する。 ⇒自分の考えを表現できる児童が8割以上になるようにする。（道徳ワークシート・発言）